



2019年度 杏林大学 一般入学試験

- I (1) ア： 8 イウ： 50 エ： 1 オカ： 40
- (2) キク： 12 ケコ： 10 サシ： $\frac{17}{30}$ ソタ： $\frac{17}{30}$ テト： $\frac{17}{24}$
スセ： 30 チツ： $\frac{17}{30}$ ナニ： $\frac{17}{24}$

- II (a) アイ： $\frac{\sqrt{2}}{2}$ ウエ： $\frac{\sqrt{2}}{4}$ オ： 3 カキ,クケ： $(\frac{\sqrt{6}}{2}, \frac{\sqrt{6}}{8})$
- (b) コサ,シス： $y = \frac{2}{9}x + \frac{2}{9}$ セ,ソタ： $(-2, -\frac{2}{9})$
- チツテ,トナ,ニ： $\frac{5}{36} + \frac{1}{4} \log_e 6$
- (c) ヌネノ： $\frac{2-\sqrt{6}}{6} \leq m \leq \frac{2+\sqrt{6}}{6}$

- III (a) ア： $\sqrt{5}$ イウ： $a_{n+1} = \sqrt{a_n^2 + 4}$ エオ： $a_n = \sqrt{4n+1}$
- (b) カキク： $\sqrt{4t^2 - 4t + 5}$ ケコサ： $-x^2 + y^2 = 4$
- (c) シ： 2 スセ： $\sqrt{5} - 2$
- (d) ソ： ⑦

- IV (a) ア： ⑧ イ： ⑤ ウ： ⑦ エ： ② オ： ⑨ カ： ⑧
- (b) キ： 3 ク： 1
- (c) ケ： 1 コ： 0



2019年度 杏林大学 一般入学試験

【 講 評 】

昨年に比べ、やや易化した。各大問の難易度は大差ないが、いずれも流れを掴みやすい小問構成のため、解きやすい大問を確実に得点したい。本年度はⅠ・Ⅱを正確に解き切ることが求められ、Ⅲの出来栄えによって合否が分かれるだろう。全体として7割程度の得点は確保したい。

Ⅰ 集合・整数、場合の数・確率	難易度： 標準
(1)は整数の性質に関する問題。集合の条件を落ち着いて考えれば難しくない。(2)は状況がやや捉えづらいが、計算処理は難しくないので確実に正答したい。	
Ⅱ 関数の総合問題、微分・積分	難易度： 標準
分数型の関数を分析する典型的な総合問題。(a)の微分計算を慎重に行って確実に正答したい。(c)は定数分離法を用いるなどの工夫を行なって落ち着いて処理したい。	
Ⅲ 空間座標、数列、図形と曲線の方程式	難易度： やや易
空間上の点列・軌跡・領域に関する出題。複雑な操作を行うように見えるが、2点間距離に注目すれば見通しが良い。誘導に従って素早く回答したい。	
Ⅳ 命題と証明、微分、極限	難易度： 標準
関数の性質に関する問題。命題を正しく証明しようとする時間がかかる可能性があるため、試験時間と見合わせて選択的に回答することが望ましい。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・金沢医科大・藤田医科・杏林・久留米・近畿大・

関西医科大・大阪医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276